

少しずつでも前に進みたい

一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子

いつも栃木県の育成会を応援いただきありがとうございます。コロナ禍ではありますが私のところには、日々いろいろな相談が寄せられます。一部をご紹介します。

- ① 発達に遅れの心配がある幼稚園年少のお子さんの親御さんから「コロナ禍の影響もあり同じような子どもがいるお母さんたちと情報交換が出来ません。先輩のお母さんのお話も聞いてみたいです」とお話がありました
- ② 一般就労している本人の親御さんからは「障害基礎年金は主治医から受給は無理でしょうと言われていました。実際はどうかのでしょうか？生活のことを相談できるところがなくて不安です」と相談がありました
- ③ 行動障害の激しい本人の親御さんからは「自閉症のことを理解している精神病院を探しています」と相談がありました
- ④ 本人もご両親も高齢になりそれぞれ病気もあり、入退院繰り返しながらも家族同居が続行していますが、いざ緊急の時はどうしたらいいのでしょうか？と知的障害相談員の方から相談がありました

お話を聞くだけに終わってしまう場合も多いです。なかなか物事はすぐには、変わらないなあと感じます。残念な思い、悔しい思い、悲しい思いをすることも多く、つくづく自分は無力だと思ってしまいます。でもそんな思いが私の活動の原動力になっているようです。少しずつでも前に進めますようにと思い、県の育成会活動に活かしていきたいです。また報告いたします。